

せい ろう まち
せ 聖籠町
議会だより

VOL.
96
平成23年11月4日発行

～ まちの宝シリーズ ～

ちからを合わせて
(蓮野こども園 運動会)



第3回議会臨時会

新しい議会構成決まる

2～4ページ

平成22年度決算を認定

8・9ページ

8議員が一般質問

12～20ページ

新議員の顔ぶれ



田宮 実副議長 須貝 龍夫議長
 小川益一郎議員 中村恵美子議員 堀 常正議員 五十嵐利栄議員 桜井 怜議員 宮沢 光子議員
 青木 順議員 田中 智之議員 渡辺 利道議員 高松 守雄議員 小林 政榮議員 田村富美男議員

厚生産業常任委員会

町民課、保健福祉課、産業観光課、ふるさと整備課、東港振興室、上下水道課及び農業委員会の所管に関する事務の調査並びに議案、請願、陳情等の審査を行います。(任期2年)



青木 順 五十嵐利栄 堀 常正
 田宮 実 ○高松守雄 ○小林政榮 中村恵美子

総務文教常任委員会

議会事務局、総務課、税務財政課、納税対策室、生活環境課、会計室、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会の所管に関する事務の調査並びに議案、請願、陳情等の審査を行います。(任期2年)



渡辺利道 宮沢光子 桜井 怜
 須貝龍夫 ○田中智之 ○田村富美男 小川益一郎

(敬称略 ◎委員長 ○副委員長)

臨時議会 9月7日

新議会構成決まる

平成23年8月28日投票の聖籠町議会議員選挙により改選された初議会が9月7日に開催され、正・副議長選挙、2常任委員、議会運営委員などの選任が行われました。
 また議会広報対策特別委員会の設置と同委員の選任、その他各種委員の選挙、推せんが行われました。

議長に須貝龍夫議員 副議長は田宮実議員



田宮実副議長



須貝龍夫議長

改選後の臨時議会で、議長、副議長の選挙が行われ、議長は須貝龍夫議員8票、小川益一郎議員6票で須貝龍夫議員が当選しました。
 副議長は田宮実議員8票、宮沢光子議員6票で、田宮実議員が当選しました。
 聖籠町の議会代表として、正副議長の活躍が期待されます。

議長就任のごあいさつ

須貝 龍夫

このたび、議員の皆様を選任をいただき議会議長の要職に就くことになりましたことは、誠に身に余る光栄であります。
 私たちは、住民の直接選挙によって選ばれた、町民全体の代表者で構成されている議会であり、その議会の長として、執行機関に対し、監視とチェックの強化と、町民が安全で安心して暮らせるような、まちづくりに努めていかなければならないと思っております。
 また、議会の権威と秩序の保持に努め、公平・中立で議員一人ひとりが議論を尽くし、町民に身近でわかりやすい議会と評価される、開かれた議会運営に努めていきたいと思っております。
 町民皆様の、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

「海のにぎわい館」 網代浜にオープン

漁協の協力が不可欠のよう
に考えるが、その団体
には漁協が参加している
のか。施設は通年利用と
しているが、赤字のたれ

指定管理者は だれを想定

主な質疑

海洋レクリエーション
活動を通じて、町内外の
住民の交流を促進し、地
域の活性化及び観光の振
興をはかることを目的と
する聖籠町海のにぎわい
館を設置します。

小川益一郎議員 施設の
管理は指定管理者への委
託のようだが、想定する
団体はあるのか。

また、施設の性格上、
漁協の協力が不可欠のよ
うに考えるが、その団体
には漁協が参加している
のか。施設は通年利用と
しているが、赤字のたれ

指定管理者は いつ決まる

NPOを想定

流しとならないよう配慮
しているか。

産業観光課長 施設の管
理は、海レク団体・観光
協会、商工会によるNP
O法人が設立されており、
管理者として視野に入れ
ている。漁協については、
組織の運営目的が違いた
め、加盟していない。

施設は通年利用とする
が、冬期はサーファーの
利用を見込んでいます。

指定管理者は いつ決まる

来年早々に決定

利用料の減免について、
町外の学校も無料とする
のか。

産業観光課長 公募は来
年早々に行い3月議会で
の議決を予定し、オープ
ンは4月1日からとした
い。利用料金の減免では、
町内の学校利用と町外の
学校利用は区分するよう
規則で定めた。



▲ 完成まじかの海のにぎわい館

利用者をつのくらしい と想定する

検討中である

また、利用料金の減免
の拡大は、管理受託者の
経営を圧迫するが、配慮
はするの。

産業観光課長 利用人数
の想定は現在検討中であ
るが、シャワー利用者が
千人から千五百人、会議
室の利用は月数回と考え
ている。

9月定例会

平成23年第3回定例会は、9月14日から30日までの17日間の会期で開かれました。
町長から行政報告があり、聖籠町海のにぎわい館条例、聖籠町税条例の一部を改正する条例など19議案を審議し、原案どおり可決しました。
教育委員会委員の任命及び人権擁護委員の推薦につき同意を求めるとしては全会一致で、監査委員の選任については賛成多数で同意しました。
また、「社会保障と税の一体改革」による消費税の増税は行わないことを求める請願はじめ、請願2件、陳情2件を全会一致で採択し、「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書の提出に関する陳情については、反対討論はありましたが賛成多数で採択しました。
一般質問では8人の議員が、震災対応、町議会議員選挙、町の活性化対策などについて質しました。

議会広報対策特別委員会

定例議会を中心に、年4回議会だよりを発行し、議会と町民のパイプ役としての役割を果たします。
(任期4年)



青木 順 田中智之 田村富美男
○渡辺利道 ◎五十嵐利栄 須貝龍夫 堀 常正

議会運営委員会

議案等、議会の運営、議会の会議規則、委員会条例、議長の諮問などについて調査します。
(任期2年)



田村富美男 五十嵐利栄 渡辺利道
田宮 実 ○青木 順 ◎高松守雄 須貝龍夫

(敬称略 ◎委員長 ○副委員長)

一部事務組合等の議員を選任

- 新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員
小林 政榮議員
- 新発田地域広域事務組合
須貝 龍夫議員
小川益一郎議員
- 豊栄郷清掃施設処理組合
中村恵美子議員
渡辺 利道議員
- 新潟東港地域水道用水供給企業団
堀 常正議員
宮沢 光子議員
- 新発田地域し尿処理場運営委員会
五十嵐利栄議員
宮沢 光子議員
- 新発田市・聖籠町議員協議会
田宮 実議員
小川益一郎議員
五十嵐利栄議員
渡辺 利道議員
田中 智之議員



▲軽自動車税もコンビニ収納可能に

五十嵐利栄議員 大型店が50%以上の恩恵を受けているが、地元の業者が

主な質疑

地元へ恩恵を

検討したい

産業観光課長 そのことを視野に入れて検討したい。

五十嵐利栄議員 国の事業が5年で終了予定が、さらに5年間延長になった。特定の集落(約150ヘクタール)だけが、10年間で約6600万円もの恩恵を受けるのは農業者同士で不公平である。県の平均は農耕地の約1/2が該当している。聖籠町も水田の1/2(約500ヘクタール)くら

産業観光課長 10月に横須賀市の湘南学院高校の学園祭にイベントと農産物の直売を行う。12月には東京都有楽町でイベントと直売を行う予定である。両方共イベントは聖籠太鼓の響(さとおと)を予定している。

一般会計補正予算

宿泊施設借上料 3000万円
水田農業確立対策補助金 815万円
聖籠町地域活性化対策事業補助金 3227万円

平成23年度の既定予算に9823万円を追加し、75億3110万円とするものです。

主なものに宿泊施設借上料3000万円、水田農業確立対策補助金815万円、聖籠町地域活性化対策事業補助金3227万円などです。

軽自動車税コンビニとゆうちょ銀行を

小川益一郎議員 コンビニ収納業務は軽自動車税に限らず、4税一括を望む。またゆうちょ銀行を取り扱い銀行に加えられるか。

手続きを経て対応する

財務財政課長 4税一括できるように動いている。ゆうちょ銀行、第四銀行も取り扱えるよう拡大していきたい。

農地水環境事業

五十嵐利栄議員 国の事業が5年で終了予定が、さらに5年間延長になった。特定の集落(約150ヘクタール)だけが、10年間で約6600万円もの恩恵を受けるのは農業者同士で不公平である。県の平均は農耕地の約1/2が該当している。聖籠町も水田の1/2(約500ヘクタール)くら

観光協会補助事業は何か

町長 いろいろないきさつがあるが、単独事業として予算検討に値するので、次年度に向けて対応する。

次年度以降検討する

宮沢光子議員 観光協会補助事業150万円は、具体的に何を計画している事業か。

県外でのイベント、農産物の直売を行う

産業観光課長 10月に横須賀市の湘南学院高校の学園祭にイベントと農産物の直売を行う。12月には東京都有楽町でイベントと直売を行う予定である。両方共イベントは聖籠太鼓の響(さとおと)を予定している。

教育委員会委員に 渡邊 あや子さん



渡邊あや子さん (網代浜)

9月30日をもって任期満了となる教育委員会委員 須貝涉さんの後任に、網代浜の渡邊あや子さんを全会一致で同意しました。渡邊さんは、子育ての傍ら芸術文化活動に取り組んでおり、平成19年から2年間、聖籠町家庭・地域教育審議会委員を務められるなど、人格、識見共に優れた方であり、教育委員会委員としての活動に手腕を期待します。

人権擁護委員に 森 猛義さん



森 猛義さん (蓮野)

人権擁護委員である蓮野の森猛義さんが、12月31日で任期満了となることから、再度推薦され、全会一致で適任と認め同意しました。

森さんは、人格、識見共に高く、広く社会の諸事情に通じ地域社会で信頼も高い人です。引き続き活動に手腕を期待します。

議会選任の監査委員に 桜井 怜さん



桜井 怜さん (藤寄)

8月31日をもって任期満了となった監査委員 加藤正之さんの後任に、桜井怜(藤寄)さんの選任について、賛成多数(賛成10・反対2)で同意しました。

桜井さんは、議会議員2期8年の実績と知識・経験も豊富で、監査委員としてふさわしいという提案理由でした。監査委員としての活動に期待します。

行政報告



渡邊町長

●行政改革大綱の策定

●人事評価制度の導入

●防災計画及びハザードマップの見直し

▼6月30日に第1回の行政改革推進委員会を開催し、行政改革大綱の策定を諮問しました。今後10月ないし11月には答申いただける見込みです。この答申を受けて改革推進本部で、行政改革大綱・実施計画の策定を行います。

▼人事評価制度の導入に向けて、企画コンペを行い一般社団法人日本経営協会に業務委託しました。

▼6月30日に第1回の行政改革推進委員会を開催し、行政改革大綱の策定を諮問しました。今後10月ないし11月には答申いただける見込みです。この答申を受けて改革推進本部で、行政改革大綱・実施計画の策定を行います。

▼人事評価制度の導入に向けて、企画コンペを行い一般社団法人日本経営協会に業務委託しました。

▼未曾有の被害をもたらしている、3・11東日本大震災の教訓を踏まえ、聖籠町の防災計画を検証するため聖籠町防災会議に「防災対策検討部会」を設置し、防災計画及びハザードマップの見直しの方向性を今年度中にまとめるよう作業中であり

▼生ごみ堆肥化の事業について、昨年度生ごみ処理施設の建屋と処理器1台を購入し、23年4月から山倉小学校区全域の集落の皆さんに協力をいただき、生ごみ分別収集を行っているところです。今年度も、蓮野小学校区、亀代小学校区の集落を対象に、来年度から生ごみの分別収集を行うため、処理器2台を追加導入し生ごみ堆肥化事業を本格的に進めていく予定です。

▼新潟東港の日本海側拠点港選定に関する取組みは、国際海上コンテナ及びエネルギー(LNG)を対象機能とした拠点港計画として国に提出、8月23日に提案内容の説明が実施されました。引き続き拠点港選定に向けて、県・新潟市と連携しながら取り組んでいきます。

▼7月末の中・下越の豪雨に伴う災害支援として、給水車1台と延べ10人の職員を派遣を行いました。

決算委員会での主な意見



▲全町対応まがか生ごみ処理施設

遊休農地は、制度を活

遊休農地対策

24年度から町内全域が対象となることから、器械の有効活用と、製品（生ごみ堆肥）の有効活用をはかられたい。

生ごみ堆肥事業

杉の子の家の米粉パン製造は、目標スケジュールで製品化できるよう努力されたい。

米粉パンの製造

少子高齢化が進むことを踏まえた、敬老会の在り方を検討されたい。

敬老会

町民の健康管理促進のため、スポネットせいろのさらなる活用と充実策を検討されたい。

健康管理



▲盛況が期待される地場物産館食堂

地場物産館

地場物産館食堂の黒字化に向けた取り組みと、農産物加工センターのさらなる利用促進をはかられたい。

消防団

消防団の班編成について、見直しを検討されたい。

平成22年度決算8会計を認定

平成22年度一般会計並びに特別会計の合計8会計は、決算審査特別委員会に付託され、9月26日（28日の3日間にわたり議長を除く13議員で審議を行いました。委員長に高松守雄議員、副委員長に五十嵐利栄議員を選任し、町長、副町長、教育長及び各担当課長の出席を求め、審査を行いました。委員会は合計16項の意見を付けて、全会計認定し、本会議においても委員長報告通り、全会一致で認定されました。

一般会計決算

▼歳入決算額75億2019万円で前年対比13・9%の減、歳出決算額71億2243万円で13・9%の減で、繰越明許費7587万円。実質収支3億2189万円の黒字決算であった。

▼財政の健全性は維持されているが、景気の低迷は続くと予想されるので、なお一層の健全財政運営が望まれる。

エネルギー対策

太陽光発電など自然エネルギーの普及には、財政的な支援を含めて積極的な対応を望む。

循環バス

現行のバスは修繕費な

子育て支援

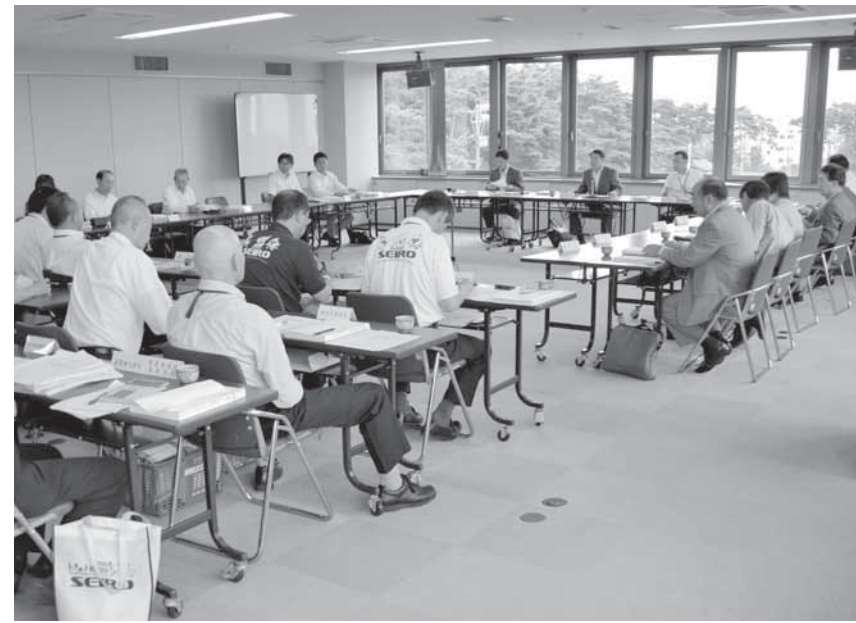
どの維持費が大きいので、天然ガス車にこだわらない車種の選定をされたい。ネットワークを活用し、関係部署の連携をはかり結果を出せる対応をされたい。

特別会計決算

▼7特別会計については、一部意見を付けた会計を含めて、全て全会一致で認定した。

▼国民健康保険の医療費抑制方策として、特定健康診査や人間ドック等の受診率向上策の検討を望む。

▼下水道接続率の向上に努められると共に、東港企業への接続を積極的に働きかけをされたい。





第2回臨時議会 庁舎耐震補強設計料決定

第2回臨時議会

7月13日(水)

平成23年第2回臨時議会が7月13日、1日間の日程で開催されました。提出された議案は、新潟県市町村総合事務組合規約の変更、平成23年度一般会計既定予算に2939万円を追加し、総額7億3287万とするものです。
庁舎耐震補強設計業務委託料1071万円、放射線測定器購入費100万円、町税還付金1220万円、県消防大会出場経費213万円、防災用備品購入費84万円、中学生海外研修補助金115万円等です。

主な質疑

定期的測定はするの

五十嵐利栄議員 原発問題が収束するまで放射能の測定を行うのか。

既に測定している

生活環境課長 県の測定器で既に先週より町内を測定している。結果はほぼ平常の値を示した。

補助金対象は全生徒か

小川益一郎議員 中学生

第3回定例会では、地域住民より直接の声となりまず請願2件、陳情3件が審査され、請願2件、陳情2件が全会一致で、陳情1件が賛成多数で採択されました。

採択した請願

- ◎「社会保障と税の一体改革」による消費税の増税は行わないことを求める請願
〔消費税廃止新潟県各界連絡会 能登惣五郎〕
- ◎自然エネルギーの開発と普及、プログラムを決めた原発からの撤退を求める意見書提出に関する請願
〔原発問題住民運動新潟県連絡センター 関根 征士〕

採択した陳情

- ◎拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について（お願い）
〔福岡県筑後市長 中村 征一 外3団体〕
- ◎「私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情
〔新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村 直美〕
- ◎「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出に関する陳情
〔アジアと日本の平和と安全を守る新潟県フォーラム新発田地区代表 長谷川 晃〕

意見書提出

第3回議会定例会で6件の意見書が提出され、すべて全会一致で可決されました。可決された意見書は、国及び県の関係機関に提出し実現するよう要請します。

- ◎消費税の増税を行わないことをもめる意見書
- ◎拡大生産者責任（EPR）とデポジット制度の法制化を求める意見書
- ◎私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書（国宛て）
- ◎私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書（県宛て）
- ◎「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書
- ◎自然エネルギーの開発と普及、プログラムを決めた原発からの撤退を求める意見書

読者の声



石井 吉春さん
(網代浜)

「今思っている」

今年、東日本大震災、原発事故、各地で被害が続いています。二十年程前に、何度も傍聴に行きました。議会を傍聴するのと「議会だより」ではだいぶ伝わり方が違う感じがしました。前も今も感じるの、毎回同じ顔ぶれの議員が質問している。質問する議員はいろいろ調べたり、勉強していると思う。そのようなふだんの姿が見えないのが残念。

この町の町に期待するのは、福祉、特に障がい者の施設。また、自然エネルギー、教育に力をつけていただくことです。町議会構成も決まり、町が良くなるように住民は期待しています。住民

の海外研修補助金対象はこれまで聖籠中学校のみであったが、今後は町内に在住する全生徒が対象となるのか。

私立中学校生徒も対象

町長 町在住の生徒を前向きに尊重した結果、聖籠中学校生徒にこだわることなく、全生徒に海外研修の機会を平等に与えることになった。

ズバリ 直言

一般質問

町政を問う

次回の定例会は、
12月11日(日)開催予定です

8議員が質問

高松 守雄 議員 (13ページ)

1. どう分析している選挙結果
2. 「建設券」の追加発行はどうか

中村 恵美子 議員 (14ページ)

1. 国保に最初から繰り入れを
2. 不妊治療費の助成を
3. 住宅リフォーム助成を
4. アンケートの要望実施を

五十嵐 利栄 議員 (15ページ)

1. 放射能含む汚泥どう処理する
2. 今冬の電力供給大丈夫か
3. 人口増加の具体策は何か

渡辺 利道 議員 (16ページ)

1. いつする町役場の耐震補強
2. 住宅の耐震改修なぜ進まない
3. 工夫すべき地域活性化券の発行方法
4. 小規模工事等の登録業者の活用を

宮沢 光子 議員 (17ページ)

1. どう考える選挙の啓発活動
2. 新議会に対する所感は
3. どう考える住民対応の善後策

青木 順 議員 (18ページ)

1. 急げ災害対策
2. 遊んでいるプールもったいない

小川 益一郎 議員 (19ページ)

1. 町長「為書」差別配布
2. アメシロ大発生防除対策は

田中 智之 議員 (20ページ)

1. 聖籠中学校を総括し情報発信を

どう分析している

選挙結果

選挙管理委員長

法の遵守を

問 昨年8月執行の町長選挙の際、投票所の閉鎖時間を突然2時間繰り上げ実行し、前回の投票率を7・19ポイント低下した。

散々議会で言われても「投票時間」は今後も短縮を継続と言いながら、新たな選挙管理委員のメンバー構成になり、あっさり2時間延長し、町議選を実行したが前回の投票率より7・5ポイント低下し過去最低であった。

下がった投票率をどう分析しているのか。また、今後どう取り組むのか。**選挙管理委員長** 投票率は少数激戦で、今少し上がるのではないかと思つたが、指摘のとおりであった。前委員との引き継ぎで、2時間短縮については継続の要望があつたが、公職選挙法第40条、投票時間のただし書きの特別な事情がある場合については例外的と解釈。いくら

期日前投票が定着しても2時間短縮については多くの有権者の投票機会を失わせていた。ましてや選挙費用の節約や選挙結果が早くわかるなどの理由では、公職選挙法の立法の精神に照らしてうまくない。聖籠町はこの町議選より原則でいくべきと判断した。



▲ 大幅改善された選挙開票作業

また、この事業も定着してきている。今後も継続させるためにも取り扱った事業者にも換金手数料を事業費の一部として、2%ぐらいの負担を求めることができないか。**町長** 「建設券」の発行については本事業によるプレミアム商品券でも対応が可能。あらためてやるとなれば別枠の方向で検討したい。換金手数料は、大手事業所は良いとしても、公金を使って展開する事業であるので、地元商工会と協議し適正な形での事業展開をはかっていきたい。



高松 守雄議員

「建設券」の追加発行はどうか

町長 商工会との協議に値する

問 聖籠町地域活性化対策事業を増額して、住宅リフォームに関する工事等で利用できる「建設券」なるものを追加発行してはどうか。

住宅リフォームに対する側面からの助成になるのではないか。

また、町が進めている下水道の切り替え、福祉エコに関する物、もっと推進できるのではないか。



五十嵐利栄議員

問 東港の上水道浄水場や、下水道の最終処理施設である新井郷川浄化センターの汚泥から、どの程度の放射線物質が検出されたか。

町長 また、これらの汚泥の量と処理方法をどう考えているか。

町長 東港の上水道浄水場では基準以下であるが、汚泥からセシウムが検出された。この汚泥の量は合計2180立方メートルあり、4カ所に分けて

町長 万全な対応している

放射能含む汚泥どう処理する

関係者以外立入り禁止とし、放射線の遮へいと飛散防止を行っている。

新井郷川下水道浄化センターの汚泥からは、一時期10ベクレル程度の微量のセシウムが検出された。現在は検出されていない。汚泥は基準未満であるので、セメント工場に出荷している。



▲ 汚泥処理は万全か

町長 人口増加の具体策は何か 子育て政策の充実を今後も

問 第4次総合計画で、平成32年度（10年後）に現行より約1000人増やして1万5000人にする画期的な計画が出された。これを実現するための具体的政策は何か。

町長 保育料の無料化・誕生祝い金・子育て支援金・医療費助成・乳幼児・

生徒及び高齢者に対する福祉政策などは今後も展開していく。

教育長 介助員の充実、補助教員の充実などを背景に、教育力向上を目指して、きめ細かい教育を進め、少しずつ成果をあげていく。



中村恵美子議員

国保に最初から繰り入れを

町長 不足した場合繰り入れる

問 7月に行った町民アンケートの設問では、「これ以上の負担は限界」51%、「負担を減らしてほしい」34.7%合わせると85.7%である。このことから町民の負担となっていることがわかる。最初に一般会計から繰り入れを行い、町民の負担を減らすべきだったのではないか。

町長 国保は脆弱な財政基盤なので、全国的にも繰り入れざるを得ない。それに対してペナルティも国ができない現状である。

基本的に基礎を理解しながら、不足した場合は繰り出しをし調整する。

問 少子高齢化の中で、子どもが欲しくても不妊で授けられない人もいる。町民アンケートで「不妊治療費、体外受精は1回30万円から40万円もかかるなど、今の経済状況では続けられない。せめて半額助成をしてほしい」など要望がだされている。聖籠町で不妊治療費の全額助成をするべきでないか。

町長 新潟県では平成16年度から特定不妊治療費助成事業を実施している。体外受精等による不妊治療にかかる費用の助成は15万円助成している。

ここ2、3年では、件数は少ないものの、保健師等に対する相談もできてきている。実態をみながら県とは別枠で、10万円程度対応していく。

不妊治療費の助成を

町長 町は10万円程度で検討

住宅リフォーム助成を

町長 助成しない

問 見附市の住宅リフォームの補助対象工事の一覧では、住宅関連、設備工事の中で下水道のつなぎ込み工事もある。下水道の普及率を高めるため

問 町民アンケートでは町民福祉から安全対策、自然エネルギーなど多岐の要望がだされた。どう取り組むのか。

町長 アンケートの要望は、政策の優先順位の中で検討し、いかなるものはいかしたい。

アンケートの要望実施を

町長 十分検討しいかしたい



▲ 医療費軽減は町民の願い

にもよい。中身を検討し住宅リフォームをすべきでないか。

町長 住宅リフォーム助成は、政策としてなじまないのでは助成しない。

今冬の電力供給大丈夫か

町長 乗り切れる見込み

問 今夏の電力不足の対応策は、企業や個人消費者に15%の節電要請し、電力不足を乗りきったが、聖籠町の節電結果はどうであったか。東港の東新潟火力発電所の増強工事

今冬の供給計画は、東北電力の供給で不足する分を、東京電力などからの融通で乗り切れると伺っている。

に変更はないか。

今冬の県内電力供給能力は無事冬を乗り切れる体制ができているか。

町長 8月1カ月間の新潟市・聖籠町の節電効果は約80%となっている。住民の皆さんの努力結果と受けとめている。

東新潟火力発電所の港3号機と5号機の増強計画に変更はない。港3号機の約5万キロワットは8月26日から稼働している。



宮沢 光子議員

問 8月28日執行の町議会議員選挙の投票率は前回、前々回に引き続き過去最低の結果であった。有権者数は増えているのに投票率が下がっている現実をどう分析するか。

町長 町政に無関心な住民が多いと「協働による住民自治の実現」という理念を掲げることができない。公職選挙法第6条にある「常にあらゆる機会を通じて選挙人の政治常識の向上に努めること」つ

新議会に対する所感は

町長 真摯に向き合い議論する

町長 成熟した首長と議会が緊張感を持ちつつ協調し、住民の利益となる結論を出すことが住民の幸せにつながる。二元代表制である地方議会の中に〇〇派などというものはないのが理想である。



▲ 窓口はいつも笑顔で

選挙管理委員長

啓発のあり方を検討する

どう考える選挙の啓発活動

問 まり選挙の常時啓発に取り組むことを、選挙管理委員会はどうか考えるか。

選挙管理委員長 選挙の常時啓発について、前委員長と引き継ぎはしていない。啓発事業は従来のやり方を参考にしたい。

しかし、選挙時の臨時啓発だけで投票に結びつくのかという疑問もある。今後の課題として、選挙人へ啓発のあり方を事務局とともに検討する。

問 今議会から新たな議会構成がスタートした。議員にとり、任期4年間の始まりである。地方公共団体における二元代表制とは、町長も議員も町民から直接選ばれた代表だということである。

町長 町執行部の代表者で議員は議事機関。執行機関執行部と議事機関議会の関係はあくまでも対等である。成熟した首長と議会が緊張感を持ちつつ協調し、住民の利益となる結論を出すことが住民の幸せにつながる。二元代表制である地方議会の中に〇〇派などというものはないのが理想である。

どう考える

住民対応の善後策

町長 事例確認し適切な指示

問 ここ数年来、役場各課において窓口や電話・文書対応等で住民感情に火を点けるようなトラブルが起こっている。各課からの事例報告をどのよう

町長 報告を受け事例を確認したうえで、住民への陳謝等を含め、適切な指示をしている。

いつする町役場の耐震補強

町長 来年度に実施したい



渡辺 利道議員

問 町役場は耐震診断の結果、1階、2階の補強が必要とのことであるが、1階、2階は町民が最も利用する部分であり、早急に補強工事を実施すべき。いつ実施予定か。

町長 この7月臨時議会です。耐震補強設計をいたいただき、耐震実施設計を行っていただく。来年度に耐震改修の予算を計上したい。

工夫すべき地域活性化券の発行方法

町長 昨年と同様に発行

問 昨年発行された地域活性化券は、ブランド4、ウオマサ、JA北越後で50・3%を占める反面、1円の利用もない事業者が32業者あった。活性化券の発行方法を工夫すべきでは。

町長 地域活性化券の発行も3回となり、事業登録加盟店でのアンケート調査でも、実施方法に高い評価を得ている。発行にあたっては、商工会と協議しながら、対応したい。



▲ 耐震改修待たれる住宅

住宅の耐震改修なぜ進まない

町長 改修に多額の費用がかかるため。昭和56年以前の住宅は補強工事が必要で補助制度もあるのに利用が進んでいない。原因と対策は。

利用している補助制度の利便性は累計で9件。利用されない理由は、改修に多額の費用がかかるためと考えており、PRにつとめたい。

小規模工事等の登録業者の活用を

町長 制度の主旨をふまえ配慮する

問 町には130万円未満の工事を登録業者に発注する制度があるが、活用が少ないと聞く。

町長 町内小規模事業者の発注機会の拡大により、町内経済活性化をはかるため、積極的な活用をできないか。

町長 小規模業者として一生懸命頑張って汗流している方々に反映されるよう、配慮する。



小川 益一郎議員

問 平成23年8月28日執行の聖籠町議会議員一般選挙に立候補した人は、15人である。

この立候補した人に聖籠町長渡邊廣吉名で、祈必勝の「為書」が配布されている。

しかし、配布された候補者と配布されない候補者があった。私には無い。

①何ゆえ、配布した候補者と配布しない候補者があるのか。

②配布の基準は何か。

③立候補者は全て町民で

ある。町長は、全町民に等しく公正・公平でなければならぬのに、特定の人のみに「為書」を配布したのか。

④町長の行為は差別である。人によって差別する行為は、町の最高指導者として不適格である。

⑤平成19年8月26日執行の今回の選挙には全員に配布した。何故今回は違うのか。

⑥今回の配布は町長自ら一人で各候補者に届

けたか。それとも代理が届けたか。

町長 町長という政治家の行動である。このことについていちいち制約を受けるような立場ではない。

近隣の市長も、特に社会的に登場している名古屋市長や大阪府知事も、本当に独断的な行為で政治活動をしている方と理解している。

私はそういうことから見れば微々たるものだ。個々の質問はこういう議場で答弁するに値しないと理解するので、答弁は控えたい。

町長「為書」差別配布 一政治家の行動である

急げ災害対策

町長 想定外も含め検討中



青木 順議員

問 3・11災害が起こり、半年以上がたった。今までも大変多く取り上げられてきた災害問題。一刻も早く学校・先生・生徒・親・家庭に徹底した防災知識をしっかりと伝えていくことを取り組むべきだと思うが、聖籠町としては、しっかりとできているのか。ハザードマップ以外でも即、聖籠町として取り組もうとしていることは何か、そして海抜標示はいつから標示するのか。

町長 聖籠町も海、火力発電所がある。様々な観点からの津波に対するセミナーを県・聖籠町・関係機関との共催で行い、色々な津波に対するシミュレーションを、想定外



▲ 再活用が待たれるプール

も含め研究し、なるべく早く実施していきたい。

海抜標示は、現在、調査中であり、来年の3月頃までには実施していきたい。

遊んでいるプール もつたいたい

町長 具体案検討する

問 平成2年に約8千万円近くかけて建設された、旧聖籠中学校のプール。本当にあのままにしておくのは、もつたいたい。防災対策に関連して水を溜めておくことも必要だと思うが、ボウフラ対策、蚊の被害が近隣の住民、農家の方から聞かされた。しっかりと管理してほしい。アンケートによると、プールがほしいという意見が多いと聞いた。新しく建設するというのは、あまりいい方法ではないと思うが、今ある施設の有効活用を検討できないか。

町長 大勢の町民からの要請を受けて平成16年から3年間夏の間だけ開放したが、利用者の数が、少なかつたことから、プールの維持管理費、人件費などを考慮して、現在は閉鎖している。

町民の要望、プールを開放してからの課題等も踏まえながら、どうしたら大勢の皆さんに利用していただけるか今後、前向きに検討したい。

また、平成16年から18年までの3年間、開放されていたということだが、利用状況はどうだったか。



▲ アメシロ対策を万全に

アメシロ大発生防除対策は

町長 適期防除に努める

問 8月23日議会選挙告示日に街宣車を弁天湯風致公園に休憩した。

桜並木が黄ばんでいるので湯縁まで行って見た。

桜の幹から枝までビツシリとアメシロが真白に付いて真綿の大群に覆われていた。

アメシロの多さにゾツとした。

①公園管理はどのようにされているのか。

②来年の花見に影響ないか、葉が全部ない。

③アメシロの異常発生で各集落、各戸への防除指導や対策はどうなっている。

町長 ①弁天湯風致公園の維持管理は業者委託をしており年2回薬剤散布の契約となっている。

②桜の花芽は夏の間でさき、アメシロは葉のみを食するので来年の開花に影響はない。

③防除指導は区長会議でお願いし防除機械の貸し出しや、薬剤の配布も行っている。



田中 智之議員

聖籠中学校を総括し 情報発信を

町長 多方面から検証している

問 今年度から実施されている第四次聖籠町総合計画には、中学校の運営及び教科センター方式を総括する、と明記されている。その目的は過去を現在に生かすという点はもちろんだが、子どもを持つ保護者に聖籠町の教育環境に安心して頂くという意味も大きい。

聖籠中学校は数年前、学力は県下最低、不登校率もワースト2位と報道され、不安や悔しさを覚えた町民も多かった。しかし、現在中学校の学力は着実に向上し、総合計画における平成27年度目標偏差値もクリア目前。部活動も全国大会出場の子が出ると輝かしい成績を上げている。

これは10年間の教職員、保護者、地域住民の試行錯誤のたまものである。是非これらの成果、課題を一刻も早く公表してもらいたい。良い情報を発信することが、生徒、保護者、町民の自信となり、開校10年を節目に、あらためて「日本一いきいきした中学校」を目指す第一歩となる。聖籠中学校の総括の途中経過はどうなっているのか。

町長 教科センター方式については学力だけでなく豊かな心、健やかな身体など多方面からの検証をしている。そして徐々にその方向性が確保されている。

今まで積み上げてきたものを総括し、現状と将来への課題を町民に示しながら理解を求め、力は向上させるという町長としての政治理念、施策方針は町民との約束であり、町の子育て支援や教育に関しては、いろんな角度から情報発信をしている。

まずは、教育委員会に主体性をもってがんばってもらいたい。

家庭、地域一体で、愛情を持って、将来を担う生徒を育ていくためさらなる支援と指導に努める。総括は年度途中でもあり、中学校と相談して進めたい。聖籠中学校が良くなっている事実を保護者、地域の方に理解頂き安心して進学できるように教育委員会として努力していく。



▲ 日本一いきいきした中学校に

新構成メンバーで各常任委員会 重要課題を調査

請願1件陳情3件を調査

総務文教

9月22日、改選後初の委員会を開催し、所管議案を厳正に調査した。「社会保障と税の一体改革」による消費税の増税は行わないことを求める請願、拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について(お願い)、次に「私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情、「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出に関する陳情等、請願1件、陳情3件について審査した結果、請願1件陳情2件はその趣旨を認め全会一致で採択した。

出たが最終的には全会一致で採択となり、意見書を添付して各担当大臣宛3件、県知事宛1件を提出した。

所管議案を調査

厚生産業

9月20日、改選後初の委員会を開催し、所管議案を調査すると共に「自然エネルギーの開発と普及プログラムを決めた原発からの撤退を求める意見書の採択を求める請願」について審査した結果、その趣旨を認め全会一致で採択した。所管業務から聖籠町海のにぎわい館条例の制度も新たに加わった。開会中の継続調査として福祉、保健、町道、商工業、上下水道、産業、港湾など調査することにした。

しかし「緊急事態基本法」に関する陳情では、継続審査の意見も



お知らせ

議会を傍聴してみませんか 次回12月定例会で 日曜議会

12月定例会で日曜議会を実施します。(12月11日開催予定)
日曜議会については、平成16年12月定例会から年1回開催され、今年で8回目を迎えます。

今、町ではどんなことが問題になっていて、どんな議論がされているのか。町政は皆さんの身近なものです。お気軽に傍聴においでください。

なお、一般質問の通告一覧は、事前に、役場1階受付、町民会館、図書館、保健福祉センターに設置しますのでご覧ください。



募集

募集中
あなたもみんなのページ
聖籠町に嫁いで来た
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私も思っている方は、お気軽にご連絡ください。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)

町役場議会事務局

☎0254-27-1967 (直通)

議会広報対策 特別委員会

議長	須貝 龍夫
委員 長	五十嵐 利栄
副委員 長	渡辺 利道
委員	堀 常正
	田村 富美男
	田中 智之
	青木 順

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

楽しい毎日を過ごしています



ともみ
曾根 智美 さん
(蓮湯)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

たまたま知り合い、3年間付き合い結婚しました。

Q 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

自然がたくさんあって環境の良い町だと思いました。

小学生の下校時間の放送には驚きましたが、子どもを安心して通わせることができ、とても良いと思いました。

Q 町での生活はどうですか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)

家族や親戚の方から親切に支えてもらい、また近所の方たちからも声をかけてもらったり、楽しい毎日を過ごしています。

これからも、いろいろな所に出掛けたりして楽しく過ごしたいです。

Q 町に望むことはありますか？

これからも、人に優しい、子どもからお年寄り、みんなが住みやすい町であってほしいと思います。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は糸魚川市出身で平成22年10月に嫁いで来た曾根 智美(旧姓 加藤)さんです。
皆さんよろしくお願ひします。

編集後記

8月に行われた町議会選挙の投票率は72・18%で前回より7・5ポイント低下した。前回の選挙でも3・6ポイント低下しているの、2回の選挙で11・1ポイント低下した。何故投票率が低下していくのか、議員の課題として受けとめていく事が必要と考えている。

さて今回の広報96号は広報委員6人中5人が交代し、この内3人はフレッシュな新人議員で構成された。新しい感覚を取り入れながら、先輩が築きあげて来た価値ある広報を少しずつでも前進させる事が、新委員の役割と、とらえている。

国政は野田どじょう内閣がスタートしたが、6人続いで1年内閣にならないよう、まずは震災復興に取り組んでもらいたい。

聖籠町の議会広報も、読者の皆様に愛される広報誌目指して、しっかりと取り組んでいきたい。

議会広報対策特別委員会
委員長 五十嵐利栄